

2031年

新線「なにわ筋線」開業

大阪中心部と関西国際空港を結ぶ「なにわ筋線」が、2031年春の開業を目指し、工事が進められていきます。

なにわ筋線は、うめきた2期区域の再開発で2023年に設置予定の「うめきた（大阪）地下駅」から、なにわ筋の地下を走り、JR難波駅と南海難波駅を結ぶ約7.4Kmの路線です。1日20万人の利用が見込まれています。総事業費は約3300億円（うち約770億円が国の補助）です。

なにわ筋線整備やその沿道地域の開発による**経済波及効果は8520億円**（建設投資5104億円+沿線地域開発3416億円）で、**26520人の新規雇用**が想定されています。

阪急電鉄は、これに合わせ、うめきた（大阪）地下駅と十三駅を結ぶ「なにわ筋連絡線」や、十三駅と新大阪駅を結ぶ「新大阪連絡線」の開通をめざしています。

